

全労金2019春季生活闘争ニュース・第12号

連合「第1回回答集計結果」では、 多くの組合で賃金引き上げを確保！

◎3月15日、連合は第1回回答集計結果を公表し、記者会見しました！

連合は、3月15日午前10時までの回答状況を集約し、同日の夕方に公表しました。記者会見において、連合・神津会長は「定昇込みの率は昨年と同水準となった。これは、ここ数年で底上げを図ると伝えていることからすると、この水準をいかにキープしていくかが重要となる」「昨年まで回答を引き出せなかった組合で、回答を引き出すケースが増えている」「中小組合や非正規労働者については、前年実績を上回る回答を引き出しており、連合方針が広がりを見せている」等との見解を示しました。また、部門別共闘会議（金属共闘、化学・食品・製造等共闘、流通・サービス・金融共闘、インフラ・公共共闘、交通・運輸共闘）の代表者からは、「経営側が厳しい環境の中、賃上げに拘った交渉を展開した」「賃金引き上げによって組合員の意欲・活力の向上をはかるべき」「働き方改革（見直し）が進んだ」等が報告されています。

《回答結果の概要》

- 正規組合員の定昇込み賃上げ計 6,653円（昨年比 138円増加）
- 正規組合員の定昇込み賃上げ率 2.16%（昨年比 同率）
- 非正規組合員の賃上げ額 時給 29.56円（昨年比3.58円増加）
- 非正規組合員の賃上げ額 月給 5,606円（昨年比 110円増加）

◎全労金は、第三次交渉期間（3月18～22日）！

「第三次交渉期間」は、連合の集中回答ゾーンや第二次交渉期間までの他単組の交渉状況等を踏まえ、要求内容通りの解決ができるよう、集中的な交渉期間と定めています。そのうえで、「要求通り」と示されていない課題については、その要求通りと示されない具体的な根拠とあわせて、「どこをどのように改善すれば要求通りに回答できるのか」「今後、どのような状況になれば、回答することができるのか」「今年度の頑張り」と次年度への期待はどこに含まれているのか」を明確に引き出すことが重要です。

全労金組織全体で取り組む「統一闘争」の要求貫徹に向け、一致団結して春季生活闘争に取り組むために、組合員の声を単組闘争委員会に届けよう！

※ 次号は3月18日（月）に配信予定です。

※全労金HP (<http://www.zenrokin.or.jp/>) もご覧ください！

以上